

令和4年度 事業計画

1 基本方針

現在の我が国は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しており、いつ収束できるのか先行きの見えない不安な状況にあります。今後は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策と日常生活を両立するために「新しい生活様式」を実践する必要性もあり、そのような状況下で、シルバー人材センターの生きがい・健康づくり就業の実現と継続はさらに重要になってまいります。

また、急速に進んでいる少子高齢化と人口減少のなか、当町においても、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口」によれば、2030年には65歳以上の占める割合が36.4%に達し、約2.7人に1人が高齢者になることが見込まれております。このような事態を踏まえ、高齢化社会が提起する諸問題、健康問題、地域福祉活動の担い手不足、就業ニーズの多様化などに対処するため、シルバー人材センターの役割はますます重要となり、活躍も期待されております。

さて、急速な社会変化の中で、令和4年度は、令和5年10月から段階的にはじまるインボイス制度の準備や対策を講じていかなければなりません。そのため、令和4年度はネットワーク環境の整備をはじめとして、事務の効率化や新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の対応としてリモート会議等の準備も進めてまいります。

また、感染拡大防止対策をしつつ、高齢者の就業を通して健康で生きがいのある生活の実現と地域社会の活性化に貢献できるよう、生き活きと魅力あるシルバー人材センターの実現に向け、重点事項を中心とする事業を積極的に展開して参ります。

2 重点事項

- (1) 会員数の拡充
- (2) インボイス制度の対策
- (3) 自主・自立の組織づくり
- (4) 受注拡大と就業率の向上
- (5) 安全・適正就業の確認
- (6) 財政基盤の強化

3 シルバー人材センター事業

(1) 会員数の拡充

会員数は、シルバー人材センターの財務基盤の根幹をなすものであり、拡充を図ることは不可欠でありますので、積極的に会員拡充に取り組みます。

- ①会員による1人1人会員数の勧誘
- ②町の広報誌「いちかい」やチラシを活用した会員募集の推進
- ③退会会員の抑制（会員の面接・理由の確認）

(2) インボイス制度の対策

インボイス制度施行の令和5年10月1日に向けて準備を行っていく
今から見据えて準備を行う

- ①会員に対する配分金の仕組みの周知
- ②事務費率をどの程度引き上げるか入念にシュミュレーション
- ③対応方針の決定⇒事務費規程の改定準備
- ④発注者への説明準備

(3) 自主・自立の組織づくり

全員参加の自主運営組織として職群班や理事会、各種委員会の強化等組織の活性化に努めます。

- ①理事会の活動強化
- ②リーダーを中心とした職群班活動（グループ就業）の育成
- ③普及啓発月間「シルバーの日」をはじめとしたボランティア活動の実施

(4) 受注拡大と就業率の向上

現在就業している職種を維持するため、また、新たな就業を取得すべく基本に忠実に誠意を持って就業し、依頼者からの信頼を得てリピーターを増やすことに努めます。

- ②高齢者活用・現役世代雇用サポート事業による派遣就業の拡大
- ③職業紹介事業の推進や新たな職種拡大へ向けた取り組み
- ④身近なところからの、訪問・声掛けによる掘り起こし活動の実施
- ⑤一般家庭等へのシルバー人材センター事業PRチラシの配布

(5) 安全就業の徹底

安全就業は、シルバー人材センターの事業運営の基本であり、法令を遵守した事故のない就業に努めます。

- ①会員の安全就業基準の周知徹底
- ②安全研修会や技術講習会を通じた安全意識の再認識
- ③安全パトロールによる安全就業の確認 年4回
- ④健康管理及び健康診断の奨励

(6) 適正就業の推進

就業機会を確保し、一人でも多くの会員に就業機会を提供できるよう公平化・適正化に努めます。

- ①会員適正就業基準の周知と遵守
- ②ローテーション就業やワークシェアリング（仕事の分かち合い）の推進

(7) 財務基盤の強化

安定した事業展開のをするため財務基盤の強化を図ります。

- ①事業運営の効率化による経費の節減
- ②補助金の確保

4 法人運営

定款に定める当センターの事業目的に沿って運営できるよう、次の会議を開催する。

(1) 理事会

業務執行状況や会員の入会承認など当センターの事業運営にとって重要な案件を審議・決定するため年3回程度開催する。

(2) 総会

定期総会を年1回開催する。